

蝶の金山町高日
彦素角谷

はじめに

金山の蝶については、遠藤知二(1976)³が31種(参考記録を含めると47種)を報告しているが、それは金山峠から予想される種類数にはとうてい満たないものであった。筆者らは、その後新たに貴重な種をも含めた11種を記録し、また木下賢司氏の標本データより、遠藤(1976)が報告していないものを何種か確認した。折しも、但馬むしの会が、今年(1987)の目標として金山峠の昆虫相調査を掲げたことでもあるので、蝶を調査対象とする者としては、現時点での金山峠における蝶相がどの程度わかっているのかを明らかにしておく必要があると思われる。今回、ここに採集データを加えた目録を発表し、今シーズンの調査活動の土台としたい。調査に出かけた回数がいりなく、もとより不十分なものであるとの誇りは免れえないが、それは今シーズン以降の課題として頑張っていきたい。尚、資料の提供などでお世話になった木下賢司、遠藤知二の両氏には深く感謝します。

金山峠の概要

金山峠は、蘇武岳(1075メートル)と妙見山(1142メートル)とのほぼ中間に位置する標高800メートル足らずの山稜の一部である。峠からの眺望は東晴らしく、兔和野、瀨川などがまるで手にとるよ様に視覚に入ってくる。峠付近の稜線には、ブナ科植物、とくにカシワを主体とする林が多く、その林床にはススキなどが生えている。蘇武岳へ続くこの稜線部には適度にひらけたササ原や草原もある。

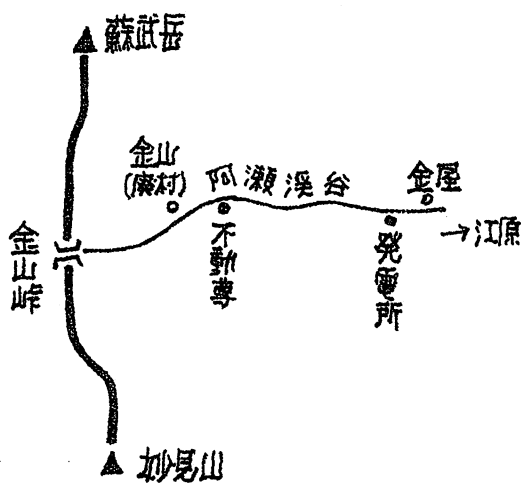


図1 金山峠と阿瀬溪谷の概念図.

* 遠藤知二, 1976, 妙見・蘇武・三川および神金嶺周辺の蝶類, 自然保護協会但馬支部研究紀要 2(3): 1-11.

我々が、普通、金山もしくは金山峠と言っているのは、金屋(金谷)からこの峠に至るまでの約6キロにおよぶ溪谷一帯のことで、この谷は阿瀬溪谷と呼ばれる(図1)。この溪谷には源氏滝をはじめとする大小の滝があり、その景勝は訪れる人の目を楽しませてくれる。流石にはカエデ類ヤトチノキなどの広葉樹が多い。金山部落は昔は、その名の示すように金鉱が採掘され、栄えていたというが、今は廃村となってしまっている。

この山系の地形および植生については、遠藤(1976)を参照された

採集地について

ここでは、採集地は阿瀬溪谷と金山峠の2つに大別して考えることにする。その根拠は、両者間に蝶の存在を決定づける生活環境の違いを見出すことが出来るからである。即ち、前者は溪谷的環境、後者は疎林的環境とほぼ言え、区別することによってそこに生息する蝶にもある程度の傾向が出ると考えたからである。阿瀬溪谷とは屋から峠に至るまでの溪谷を、金山峠とは峠付近ならびにその積一帯を指す(図1)。

過去、峠から蘇武岳へ続く尾根で採集されたものについても、名によってその採集地の表記はまちまちで、例えば採集者が大局の方をしている場合には、「金山峠」ではなく、「蘇武岳」となっている。同じ山系をどこまでが金山峠の範囲で、どこまでが蘇武岳かなど区別することはあまり意味をなさないが、今後の調査のためにも採集地はできるだけ詳しく正確に記すことを建前とし、過去、蘇武の記録となっていたもの、明らかに金山峠付近で採集されたものは金山峠とした。そのため、遠藤(1976)では蘇武岳となっていたもの、今回は金山峠の記録として採集されたものがある。尚、金山峠か阿瀬溪谷か確認できない記録は、「金山」と記す。

目録

以下、確実な採集例のある種についてのみ目録として掲げる。

I HESPERIIDAE セセリチョウ科

Daimio tethys MÉNÉTRIÈS ダイミョウセセリ
1964-V-17 阿瀬溪谷 (木下賢司)
全山で普通に見かける。

2. *Choaspes benjaminii* GUÉRIN-MÉNÉVILLE アオバセセリ
 1964-V-17 阿瀬溪谷 (木下)
 1977-VII-31 阿瀬溪谷 (谷角素彦)
 溪流沿いにその姿をよく見かける。金山といえはこの蝶を思
 い浮かべるぐらい金山になじみの深い蝶である。
3. *Thoressa varia* MURRAY コチャバネセセリ
 1976-VIII-23 阿瀬溪谷 (谷角)
 8月後半、源氏滝付近の湿地にはおびただしい数の本種が群
 々がっている。
4. *Ochlodes venata* BREMER & GREY コキマダラセセリ
 1977-VIII-3 金山峠付近カンナ林 1819 (木下・谷角)
 個体数は多くないが、稜線沿いの草原に広く分布するもの
 と思われる。
5. *O. ochracea* BREMER ヒメキマダラセセリ
 1976-VIII-23 阿瀬溪谷 (谷角)
 1977-VIII-3 阿瀬溪谷 (谷角)
 現在のところ、この蝶は源氏滝付近以外では見たことがない。
6. *Potanthus flavum* MURRAY キマダラセセリ
 1974-IX-3 阿瀬溪谷 (谷角)
7. *Isoteion lamprospilus* C. & R. FELDER ホソバセセリ
 1975-VII-15 阿瀬溪谷 (谷角)
 1977-VIII-31 阿瀬溪谷 (谷角)
 この蝶は溪流沿いだけでなく、峠付近の草原にも産するもの
 と思われるが、今のところその記録はない。
8. *Pelopidas jansonis* BUTLER ミヤマチャバネセセリ
 1977-VIII-3 金山峠 (谷角)

このほか、目撃記録として、ミヤマセセリ、イチモンジセセリ(1974-IX-3, 谷角)がある。金山峠付近の草原からはまだこの科の蝶が採集される可能性が高い。尚、同じ山系の分尾でオオチャバネセ

セリの記録があり(1976-VII-18, 谷角)、金山でも当然記録されるべきものである。

II PAPILIONIDAE アゲハチョウ科

1. *Parnassius glacialis* BUTLER ウスバシロチョウ
 1965-V-17 阿瀬溪谷金山廃村付近 (木下)
 1973-VI-5 阿瀬溪谷金屋発電所付近 (木下)
 木下氏によると最盛期には個体数は比較的多いとのことである。
2. *Graphium sarpedon* LINNAEUS アオスジアゲハ
 1974-VIII-13 阿瀬溪谷 (中野 真)
3. *Papilio machaon* LINNAEUS キアゲハ
 1973-IV-29 金山 (赤木 小百合)
 峠付近の稜線で風に吹き上げられてくるものを見かける。
4. *P. xuthus* LINNAEUS アゲハ
 1965-V-17 阿瀬溪谷金山廃村付近 (木下)
 金屋の人家近く以外ではあまり見かけることはない。
5. *P. helenus* LINNAEUS モンキアゲハ
 1977-VII-31 阿瀬溪谷 (谷角)
 山道を歩いていて、その雄大な姿によく出会う。
6. *P. protenor* CRAMER クロアゲハ
 1977-VIII-3 阿瀬溪谷 (谷角)
 全山にわたって見かける。
7. *P. macilentus* JANSON オナガアゲハ
 1964-V-17 阿瀬溪谷 (木下)
 1977-VIII-3 阿瀬溪谷 (谷角)
 個体数は多くはないが、吸水しているものを採集できる。
8. *P. bianor* CRAMER カラスアゲハ
 1977-VII-31 阿瀬溪谷 (谷角)

金山にわたって分布。

9. *P. maackii* MÉNÉTRIÈS ミヤマカラスアゲハ
1977-VIII-3 阿瀬溪谷 (木下・谷角)

金山には比較的多く、他の蝶に混じって吸水している光景によく出会う。

不動尊前の湿地には、ミヤマカラスアゲハ、カラスアゲハ、クロアゲハ、オナガアゲハなどの大型アゲハが吸水によく集まる。ネットをかぶせても驚かずにじっとしていることがある。

カンアオイは少ないながらも山麓部に分布しており、ギフチヨウの発見が待たれる。

III PIERIDAE シロチヨウ科

1. *Eurema hecabe* LINNAEUS キチヨウ
1976-VIII-23 阿瀬溪谷 (谷角)

普通種であるが、夏湿地に多数群れて吸水している姿が印象的である。

2. *Gonepteryx aspasia* MÉNÉTRIÈS スジボソヤマキチヨウ
1963-VI-25 阿瀬溪谷 (木下)
1973-III-31 阿瀬溪谷 (柴田正一)

3. *Pieris melete* MÉNÉTRIÈS スジクロシロチヨウ
1973-IV-29 金山 (遠藤知二)
1975-V-17 阿瀬溪谷 (木下)

山すそから峠にかけて見られる。

4. *Anthocharis scolymus* BUTLER ツマキチヨウ
1973-IV-29 金山 (遠藤)

この種も山麓部に多い。

モンキチヨウは山麓部で採集される公算が強く、そしてよく調べればエゾスジクロシロチヨウの発見の可能性もある。モンシロチヨウは金屋付近で見かけるが、確実な採集記録がないのはまだに汚点である。

IV LYCAENIDAE シジミチョウ科

1. *Araragi enthea* JANSON オナガシジミ
 1977-VII-31 阿瀬溪谷 (谷角)
 1977-VIII-3 阿瀬溪谷 (木下・谷角)
 不動態から金山廢村までのクルミの木に所々発生している。
 その生活範囲は狭く、クルミの木への依存度が高いため、保護の必要がある。
2. *Antigius attilia* BREMER ミズイロオナガシジミ
 1977-VIII-3 金山峠付近 (谷角)
 金山峠付近では最盛期には数も多いと思われる。
3. *Neozephyrus taxila* BREMER ミドリシジミ
 1977-VIII-3 金山峠付近 (谷角)
4. *Favonius ultramarinus* FIXSEN ハヤシミドリシジミ
 1977-VIII-3 金山峠付近カシ林 (木下・谷角)
 個体数はきわめて多い。杉ヶ沢での本種の減少を考えると、貴重な産地である。
5. *Rapala arata* BREMER トラフシジミ
 1973-IV-29 金山 (山根政之)
 1977-VII-31 阿瀬溪谷 (谷角)
 全山にわたってその姿を見かける。数も比較的多い。
6. *Spindasis takanonis* MATSUMURA キマダラルリツバメ
 1977-VIII-3 金山峠付近 182♀ (木下・谷角)
 貴重な記録である。最盛期には個体数は少なくないと思われる。その発生地を突きとめたい。
7. *Callophrys ferrea* BUTLER コツバメ
 1973-III-31 金山 (本庄四郎)
8. *Lycaena phlaeas* LINNAEUS ベニシジミ
 1965-V-17 阿瀬溪谷 (木下)
 山麓部でよくみかける。

9. *Taraka hamada* DRUCE ゴイシシジミ
1977-VII-31 阿瀬溪谷 (谷角)

数は多くない。

10. *Pseudozizeeria maha* KOLLAR ヤマトシジミ
1974-IX-3 金山 (谷角)

山麓部に普通。

11. *Celastrina argiolus* LINNAEUS ルリシジミ
1976-VIII-23 阿瀬溪谷 (谷角)

普通にみかける蝶で、盛夏には群水で吸水していることがある。

このほかに、金山峠付近カシワ林でダイセンシジミの目撃記録(1977-VIII-3, 谷角)があるし、木下氏は阿瀬溪谷上流でウラクロシジミを目撃されたとのこと(1977年7月)。シーズンに金山峠付近のカシワ林などを捜すと、その他のゼフィルスが記録されるであらう。

また、スギタニルリシジミの記録(1970年、上田尚志氏)があるが、標本が焼失し、確かめようがないのでこの目録から除外した。

V CURETIDAE ウラギンシジミ科

1. *Curetis acuta* MOORE ウラギンシジミ
1976-VIII-23 阿瀬溪谷 (谷角)

夏の終わりに個体数が増える。

VI DANAIDAE マダラチョウ科

1. *Parantica sita* KOLLAR アサギマダラ
1964-V-17 阿瀬溪谷金山麓付近 1♂1♀ (木下)

遠藤(1976)は蘇武岳の記録として扱っているが、これは採集者が習慣によって採集地を蘇武としていたもので、ここでは金山の記録として扱う。

VII LIBYTHEIDAE テングチョウ科

1. *Libythea celtis* FUSSLY テングチョウ
1973-III-31 金山 (遠藤)
1973-IV-5 阿瀬溪谷 (谷角)

春、越冬した個体をよく見かける。

VIII NYMPHALIDAE タテハチョウ科

1. *Melitaea diamina* LANG ウスイロヒョウモンモドキ
1963-VI-25 金山峠付近 (木下)
上記の1例のみで非常に貴重な記録である。金山峠付近を再調査して、その生息を確かめたいものだ。
2. *Argyronome ruslana* MOTSCHULSKY オオウラギンスジヒョウモン
1973-VIII-7 金山峠 (遠藤)
3. *Nephargynnis anadyomene* C. & R. FELDER タモガタヒョウモン
1973-VI-5 阿瀬溪谷 (木下)
4. *Argynnis paphia* LINNAEUS ミドリヒョウモン
1973-IX-15 金山 (中村ひとみ)
5. *Fabriciana adippe* LINNAEUS ウラギンヒョウモン
1963-VI-25 阿瀬溪谷 (木下)
6. *Limenitis glorifica* FRU. STORFER. アサマイチモンジ
1977-VIII-3 阿瀬溪谷 (谷角)
7. *L. camilla* LINNAEUS イチモンジチョウ
1963-VI-25 阿瀬溪谷 (木下)
1977-VIII-3 阿瀬溪谷 (木下)
8. *Neptis sappho* PALLAS コミスジ
1977-VIII-3 阿瀬溪谷 (谷角)
全山にわたって極めて普通。
9. *N. pryri* BUTLER ホシミスジ
1963-VI-25 阿瀬溪谷 (木下)
その後採集されておらず、確認を必要とする。この標本は、遠藤(1976)では蘇武産として扱われている。

19

谷角素彦

10. *Araschnia burejana* BREMER サカハチチョウ

1965-V-17 阿瀬溪谷 (木下)

1973-IV-29 阿瀬溪谷 (谷角)

渓流沿いに多い。

11. *Polygonia c-aureum* LINNAEUS キタテハ

1973-III-31 金山 (遠藤)

1974年8月に阿瀬溪谷にて本種が、アザミの花で吸蜜するのを観察している。

12. *Cynthia cardui* LINNAEUS ヒメアカタテハ

1966-VI-11 阿瀬溪谷 (木下)

数は非常に少ないと思われる。

13. *Vanessa indica* HERBST アカタテハ

1973-V-5 阿瀬溪谷 (谷角)

山麓部の金屋あたりでよく見かける。

14. *Dichorragia nesimachus* BOISDUVAL スミナガシ

1977-VII-31 阿瀬溪谷 (谷角)

金山にわたって見かけるが、その数は多くない。

ルリタテハ、コムラサキ、ゴマダラチョウの目撃記録はかなりあるが、何故か採集されていない。このほかヒオドシチョウの目撃記録もある。以上4種は当然生息しているので、間もなく目録に追加されるであらう。オオムラサキは、近隣の分庫で採集しており('76-VII-18)、金山にも生息している可能性は十分にある。

阿瀬溪谷でヒョウモンチョウ類を見かけることが少ないのは、草原があまり発達していないせいであらう。

IX SATYRIDAE ジャノメチョウ科

1. *Ypthima argus* BUTLER ヒメウラナミジャノメ

1964-VIII-11 阿瀬溪谷 (木下)

2. *Harima callipteris* BUTLER ヒメキマダラヒカゲ

1977-VIII-3 阿瀬溪谷 (谷角)

3. *Lethe diana* BUTLER クロヒカゲ
1973-VI-5 阿瀬溪谷 (木下)
4. *L. sicelis* HEWITSON ヒカゲチョウ
1973-VI-5 阿瀬溪谷 (木下)
5. *Neope nipponica* BUTLER ヤマキマダラヒカゲ
1973-VI-5 阿瀬溪谷 (木下)
1977年8月3日、金山峠の標本があるが、個体が古く、ヤマ
カサトか同定が出来ない。
6. *Mycalesis flancisca* CRAMER コジャノメ
1965-V-17 阿瀬溪谷 (木下)

当然、生息しているであろうヒメジャノメの記録がないのは、地
味な蝶であるのとコジャノメと互いに似ているのとで敬遠するせい
であろうか。

ウラナミジャノメの生息の可能性もまったくないとは言いきれな
い。また、ヤマキマダラヒカゲとサトキマダラヒカゲの分布をはっ
きりさせる必要がある。

まとめと今後の方向

現在のところ、一応記録されている種類は表1のようである。ス

表1 金山における蝶類の既知種類数

() 内は目撃記録も含んだ数

FAMILY			NO. OF SPECIES	
I	HESPERIIDAE	ゼゼリチョウ科	8	(10)
II	PAPILIONIDAE	アゲハチョウ科	9	(9)
III	PIERIDAE	シロチョウ科	4	(5)
IV	LYCAENIDAE	シジミチョウ科	11	(14)
V	CURETIDAE	ウラギンシジミ科	1	(1)
VI	DANAIDAE	マダラチョウ科	1	(1)
VII	LIBYTHEIDAE	テンゴチョウ科	1	(1)
VIII	NYMPHALIDAE	タテハチョウ科	14	(18)
IX	SATYRIDAE	ジャノメチョウ科	6	(6)
			55	(65)

ギ'タニルリシジミ、ホシミスジ、ウスイロヒヨウモンモドキなどについて、その後、付近の様子が変わっていることも考えられるので、その生息を確かめる必要がある。山稜の西斜面、村岡町側も調べてみる必要があるだろう。

また、採集地別に蝶をみてみると、阿瀬溪谷の方にはサカハチチョウ、アオバセセリ、ミヤマカラスアゲハなどの溪流と関係の深い種が、金山峠にはハヤシミドリシジミやキマダラセセリなどの疎林的环境を好む種が多いといえる。

さて、従来のような、無計画な行きあたりばったりの採集調査行では、その結果は穴だらけで能率が悪い。金山の蝶相をより具体的に把握していくために、今シーズンは蝶のメンバーで計画を練り、系統だった調査を進めたい。

こうしている間にも大幹線林道の建設工事で山肌がけずられている。やがては、ハヤシミドリシジミやキマダラルリツバメの林も消えてしまうかもしれない。今年は環境庁が全国の野生動物の国勢調査なるものを着手する年でもある。我々、但馬むしの会としても内容のある調査活動を行なっていきたいものである。